

大きく育ってね

米来幼稚園・蒜山地区3園アユの放流



写真上：放流されたアユを見送る蒜山地区の園児たち
写真下：ゆっくりとアユを放流する米来幼稚園の園児たち

まにわ 真庭

まちの話題

6月5日に米来幼稚園が目木川で、6月9日に川上こども園、八束こども園、中和保育園の3園が旭川でアユの放流をしました。子どもたちは、バケツの中に入っている体長10センチほどに育ったアユを、傷つけないようにゆっくりと川へ放流。「大きくなってね」と声を掛けながらバケツを傾け、川の中に消えて行くアユを見送りました。この取り組みは、子どもたちに自然に親しむ機会を持つてもらうと開催されています。

いろんなスポーツに挑戦 モースポーツフェスティバル

6月6日、真庭やまびこスタジアムで、「真庭市ニュースポーツフェスティバル」開かれ、市内の児童ら約70人が参加しました。手軽な競技を通して運動好きになつてもらおうと、真庭スポーツ推進委員会が開催し、今年で7回目。子どもたちは推進委員の指導を受けながら「まにわ合戦」「ペタンク」「ノルディックウォーキング」「スナッグゴルフ」「デイスゲッター」「ラダーゲッター」を楽しみました。



今回初めて用意されたラダーゲッターに挑戦する参加者



迫力のある演奏を披露する出演者

夏を彩る和太鼓「響」演 夏彩和太鼓フェスティバル

5月31日、旧遷喬尋常小学校前の土広場で開かれた夏彩和太鼓フェスティバルには、真庭市や津山市などの和太鼓グループ6組が出演しました。岡山県北の和太鼓グループの交流を目的に開かれているこのイベントは、今回で14回目を迎えました。長年の交流でグループを越えてユニットを作る人たちもいます。この日会場には約500人の観客が足を運び、青空のもとに響き渡る太鼓を楽しんでいました。

5/24 手作りの作品がずらり

手作りの作品を販売するエスパースアートプレイスが旧遷喬尋常小学校で開かれ、多くの人でにぎわいました。市内外から18組の展覧があり、手芸品やアクセサリ、焼菓子などが講堂や教室に並びました。



6/3 上位を目指して記録に挑戦

第62回真庭支部中学校学年別陸上競技大会が蒜山中学校グラウンドを会場に開催されました。真庭市と新庄村の8中学校から約420人が参加。競技力向上や選手の交流を目的に毎年開催されています。



6/6 勝山文化往来館ひしお10周年

勝山文化往来館ひしお開館10周年を記念する第二回ひしお寄席が開かれました。初代理事長の故・辻均一郎さんを偲ぶ会としても催され、約100人が参加。慶応義塾大学落語研究会による落語を楽しみました。



6/9 市役所へプランターを寄贈

真庭高校久世校地の生徒が、真庭市役所本庁舎へ花の寄贈を行いました。プランターに植えられたサルビアとマリーゴールドを生徒たちは大事そうに運び、庁舎玄関横に丁寧に並べていました。



6/14 真庭に根付く発酵文化に触れよう

「暮らしの中に発酵を！」が勝山文化往来館ひしおで開かれました。市内の若手職人らでつくる“まにわ発酵'S”が、醤油搾りや醤油麹づくりなどを参加者に手ほどき。体験を通じ、真庭の発酵文化に触れました。



モリアオガエルの卵を観察する参加者

モリアオガエルをはじめとする生き物の観察会が6月14日に津黒いきものふれあいの里で開かれました。池では、水面に張り出した枝に数個の卵塊が確認できました。参加者は、岡山県自然保護推進員の山田勝さんから、モリアオガエルの生息には、普段生活するための森と、産卵のための水場の両方が欠かせないことなどを学びました。その後も一行は、木の実を食べたり昆虫を観察したりしながら森の散策を楽しみました。

森にすむ生き物を観察
モリアオガエルとその仲間たち



関係者に見守られ出発する移送車

6月15日、富原地域で有償ボランティア制度を活用した移送サービスの実証実験がスタートしました。この実験は、10月31日までの期間、「まにわくん」の枝線運行地域である富原地域をモデルに、地域のさまざまな課題を解決するために行われます。玄関先から目的の地まで運行され、ガソリン代に掛かる実費を徴収します。「NPO法人とみはらむら」の助け合い隊のメンバーが交替で運転を行っています。

実証運転始まる
富原地域移送サービス出発式

農村型リゾートへ行こう

農村型リゾートは、その地の自然や風土、地元住民とのふれあいの中で、農山漁村の生活を体験しながら、大きな感動とやすらぎを提供します。

青木本家

大正時代の民家を活用した宿泊施設です。「団らん」という言葉が似合う囲炉裏のある居間など随所に当時の面影を残しながら、お風呂やトイレは宿泊しやすいように改修されています。

■余野下388 定員10人
TEL0867(42)0728

なつつばき

高仙の里の静かな高台にある施設です。和室のほか、工作室や食堂、広い庭やキャンプサイトなども整備され、さまざまな活動ができます。

■余野下465 定員30人(和室3室)
TEL0867(42)0728

高仙の里よの

素朴な農山村の景観が広がる余野地区には、雰囲気の違いが2つの宿泊施設が整備されています。



なかつい陣屋

江戸時代の陣屋をイメージした施設。郷土料理や陣屋懐石の他に、手作り豆腐を使った創作料理を提供しています。建物の雰囲気や地酒とあいまって風雅なひとときを楽しむことができます。

■下中津井454-2 宿泊定員9人 食事・会議利用定員35人
TEL0866-52-5001



クリエイト菅谷

広大な敷地にさまざまな施設を兼ね備えた農村型リゾート。かやぶき民家やコテージなどの宿泊設備も充実。自然の中での農村暮らし体験、工作・料理づくり、夏はヤマメのつかみどりなど、四季を通じて楽しむことができます。

■美甘1052-2
TEL0867-56-2044

まはらのスキッツ!!

編集後記

子どもの頃楽しみだった夏休み。宿題で苦手だったのが作文で、原稿用紙を埋めるのに四苦八苦でした。それが何の因果か今は文章を書くのが仕事。昔とは逆にスペースに文字を納めきれずに困ります。「あれも書きたい、これも書きたい」と、今月もついつい書きすぎて…。反省。でも、なぜかこの編集後記だけは、毎月埋めるのに苦労してます。 江崎



真庭市制施行10周年記念

津黒いきものふれあいの里で行われた、中和小学校の土曜授業に同行させてもらいました。あいにくの天気でしたが、子どもたちは元気いっぱい。木の皮の匂いを嗅いだり、葉っぱを舐めたりと、山の自然を満喫していました。1年生と2年生は、ハンモックの体験で大はしゃぎ。僕もせっかくなので…挑戦!! じゃありませんでした。だって、ひもが切れちゃいます。 横山